

株式会社 八洋

メディアコミュニケーション学部情報文化学科

3年 佐藤 翼

1. 実習企業（団体）の概要

自動販売機のオペレーション事業を手掛ける。事業内容は、自動販売機による清涼飲料の販売及び自動販売機の管理・メンテナンスを行う。企業理念として、「お客様から感謝され、共に成長し、豊かな心と幸せを築く」を掲げている。

- ・創業 1977年4月30日
- ・資本金 1億800万円（関連会社を含む）
- ・売上高 405億円
- ・従業員数 1,790人（社員数：1030人、社員外従業員数：760人）
- ・所在地 東京都新宿区東五軒町2-18
- ・代表取締役社長 後藤 晃宏

2. 実習内容

ルートセールス（自販機補充、ごみ回収）

3. 実習の成果

これからの職業観に関しては、インターンシップに参加することでもっと幅を広げていきたいです。今回のインターンシップでは、業務知識に関して自動販売機の業界がどういった活動をしているのか等、理解を広めることが出来ました。また商品集めに関しては、五日間でだいたいの商品は集められるようになりました。時間との勝負であり、いかに効率よくルートを回り補充や飛び込み営業をすることが出来るのが重要です。飛び込み営業は基本的にはルートセールスの合間に行います。取り扱う商品はキリン・アサヒ・サントリー・ポッカ・明治の商品を取り扱っていました。ビジネスマナーに関してはお客様のニーズに応え、企業全体がとにかく明るく元気な挨拶が大切であることが分かりました。中型トラックの運転免許証は必須で、ルートセールスの営業職だけでなく事務職もあります。基本的にはドライバーと同乗者の二人組でルートセールスを行います。ドライバーが自動販売機のチェックを行いながら補充品を調べ、同乗者はごみ回収と補充品集めを行っています。

4. 実習の感想

実際にインターンシップに参加させて頂き、私自身仕事とはどういうものなのかあまり理解をしていませんでした。今後の業界や職種を調べる上でも今回のインターンシップに参加をさせて頂いたことに意義があり、実際に現場で働いている方のお話を聞くことができたことで非常に多くの事を得ることができました。業務は貴重な体験ばかりでした。普段自動販売機から飲み物を買って、飲んだ後ごみ箱に捨て、そうして飲み物を消費していくわけですが、その裏側にはとても多くの人の働きの上で成り立っているという事が分かりました。普段何も考えずに飲みきれないからそのまま捨ててしまえとごみ箱に捨てる人もいます。それはごみを片付ける人の大きな負担となっていること、商品を集める際や補充する際に周囲への気配りや配慮をしていること、そうして一台の自動販売機が稼働しているということをお客様からの視点ではなく、働いている側からの視点で理解することが出来ました。今後は、常日頃当たり前のように使っているモノの後ろにはとても多くの人が関わっていることを意識しながら今後の就職活動に活かして行きたい所存です。5日間を通して、広い視野を持ってインターンシップに参加することが出来ました。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月22日(月)	ごみ回収
2日目	8月23日(火)	ごみ回収 商品補充
3日目	8月24日(水)	ごみ回収、商品集め
4日目	8月25日(木)	ごみ回収、商品集め
5日目	8月26日(金)	ごみ回収、商品集め